



みみだより No.31

鳥取聾学校ひまわり分校 聴能担当 R4.1.14

文責：谷田

明けまして おめでとうございます！2022年（令和4年）がスタートしました。3学期も始まり、冷え切った校舎が子どもたちのにぎやかな声で活気づいたように思います。

寒くなり、補聴器等の電池が早く切れるようになった、と感じる人がいるかもしれません。今回は、補聴器や人工内耳の電池の寿命について取り上げてみました。



補聴器や人工内耳の電池、
どれくらいもつのかな？

補聴器の電池

補聴器の電池は4種類ありますが、耳かけ型補聴器（障害者総合支援法対応）に使われている電池は2種類です。どちらを使用しているかは、その補聴器のパワーによります。そして電池の種類によって寿命が違います。

電池の種類	13 (PR48)  	675 (PR44)  
補聴器の種類 (ひまわりの子どもたちの 使用補聴器)	 オーティコン C100SP  オーティコン オープンプレイ  オーティコン エクシードプレイ SP  フォナック スカイ B-SP	 オーティコン エクシードプレイ UP  フォナック スカイ B-UP
電池の寿命	10日～2週間 SP…スーパーパワー UP…ウルトラパワー	約3週間

上記の寿命は目安であり、使用時間や季節によって寿命は変わります。（冬は寿命が短くなります。）また、補聴援助システム（ロジャー）を使用している場合も、消耗が早まります。

※補聴器が故障していると過電流により消耗が早まります。この場合は修理が必要ですので、1週間たたないうちに電池が切れることが続くようであれば、補聴器店でみてもらいましょう。

人工内耳の電池

人工内耳の電池には、空気亜鉛電池と充電式電池があります。空気亜鉛電池を使用する場合は、人工内耳用を使用するようにしましょう。また、充電式電池の耐用期間は、最短で充電サイクル400回、使い切った充電電池をフル充電するのに約4時間かかります。電池の寿命は人工内耳のプログラムや皮膚の厚さ等によって異なりますが、1日使ったら必ずフル充電するようにしましょう。



スタンダード 充電電池 コンパクト 充電電池



充電電池の接続部分が接触すると、ショートしてしまう恐れがあるので、充電電池は別々に保管するようにしましょう。

ワンポイント 手話



「すごろく」



「トランプ」

「おやこ手話じてん」より

